西暦 2021年12月27日

　　　　　　再生医療等技術専門員評価書

カメイクリニック ２認定再生医療等委員会殿

（氏名）金沢医科大学耳鼻咽喉科　三輪　高喜

ばば耳鼻科クリニック　馬場　奨院長より提出された再生医療等提供計画における科学的観点での評価について以下のとおり報告いたします。

提供する再生医療：多血小板血漿を用いた萎縮性鼻炎に対する再生医療（受付番号　N2108）

技術専門員の専門分野：耳鼻咽喉科

治療の妥当性：あり

専門的評価

１． 再生医療の特徴

当該再生医療の対象となるものは、萎縮性鼻炎である。従来、この病態の原因は不明とされており、よい治療法がない。しかし、患者さんの苦痛は強く、よい治療法の開発が望まれている。その点、この多血小板血漿を用いた再生医療は現在、エジプトと韓国で2020年から始められており、血小板自体に副作用がないため、治療法のない本疾患に試みられてもよいと考えられる。

1. 注意すべき点

これまで鼻腔内粘膜への血小板注入はなされておらず、鼻出血、鼻閉、嗅覚障害などの鼻症状が出現する可能性について患者に説明するとともに、厳重な臨床的観察を行う必要がある。

1. 考えられるメリット・デメリット

メリットは自己の血小板を用いるため、異物注入とは異なり異物反応が少ないことである。デメリットは未知の治療であり、治療効果が得られない可能性があることである。また、治療効果と同様、副反応についても未知の部分がある。

1. 総評

萎縮性鼻炎に対する多血小板血漿を用いた再生医療は、これまで治療方法がなかった本疾患に対して有効な治療となる可能性がある。一方で、治療効果や副反応は未知であり、十分な観察と患者への説明が必要である。